



ゆう&あい

10月号
平成23年
9月24日発行

優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛

播磨町ボランティアセンター・播磨町善意銀行
発行所：社会福祉法人 播磨町社会福祉協議会 TEL079(435)1712

ジャンケン列車シュッシューポッポー☆

のびのびはりま2011

手づくり輪なげも大盛況😊



最後の日みんなでお祭り遊びをしたよ。

わっしょい! わっしょい!!

おかしつりにみんな真剣!

のびのびはりま
(西小 男児)

夏休みにのびのびはりまに行きました。
楽しかったのは、住吉神社で木の実をひろったり、すべり台で遊んだことです。それとお祭りでマルモリダンスをおどったり、わなげのお店をしたり、おかしつりで遊んだり、スペシャルゲストのはばタンの体にふれたことです。他には、い動水族園でヒシガニをさわったり、カエルアンコウを見たら、水と同じ色でわかりませんでした、楽しかったです。
がんばれたのは、プールです。浅いけどたくさん泳げました。夏のドリルも先生にやさしく教えてもらってすべて終わらせました。
ほかに、カレーやピザ、マカロニサラダなどを作りました。ほかの学校の友だちとも仲よくしました。中学生になって、のびのびはりまがあったてほしいです。小学生のお世話をしあげたいです。

※のびのびはりま(障害児訓練事業)は夏休み期間中、障害のある小学生を対象に、調理や遠足、その他レクを通して、他の学校のお友達との交流を目的として毎年実施している事業です。

要約筆記ボランティア初級講座受講生募集

要約筆記とは、難聴者、病気や高齢等の理由で耳が聞こえなくなられた方に対して、声などの情報を要約し、文字で伝える活動です。

播磨町では、町が主催する講演会、映画会、コミセンのつどいなどで、要約筆記が必ずつけられています。

要約技術をともに学ぶ人を募集いたします。

一緒に基礎から楽しくゆっくり学んでいきましょう。

日時 10月8日(土)~11月5日(土)
13:00~15:30
毎週土曜日(全5回)

場所 福祉しあわせセンター3階会議室

費用 500円(テキスト代)

締め切り 9月30日(金)

定員 15名

お問い合わせ・お申込み

播磨町ボランティアセンター

TEL079-435-1712

FAX079-436-5610

e-mail info@harima-wel.or.jp



メールでも受付中です!

~気仙沼市社協の運営支援活動報告~

社協ボランティアセンター ウィズ(気仙沼市)の運営支援として、全国の社会福祉協議会より職員が派遣されています。播磨町社会福祉協議会からも、3回目の派遣として8月22日~30日の9日間、活動支援に行きまして。町中では瓦礫はほぼ撤去されているが、整理して積み上げられており、また、沿岸部では道路の復旧作業が行われていました。町は着実に復興に向かって動き出している印象を受けました。

しかし、仮設住宅での聞き取り調査を行う中で、「何をするにもやる気が出ない」「買物に行くにも交通手段がない」「交流したくても集まる場所がない」「仮設にいと津波のことを思い出す」など様々な思いを聞き、胸が痛みました。住民の方は穏やかに話してくださいましたが、より身近な生活の支援や心のケアなど、支援のあり方が変化していると感じました。



(写真) 仮設住宅の様子▶
花や植木を並べて玄関前を飾っておられる。バリアフリーではなく、高齢者には負担がかかる住宅もあった。

伝言板

このページに関する問合せは
播磨町社会福祉協議会
TEL.079-435-1712

心配ごと相談

秘密厳守

日時 毎週火曜日 13時~16時
場所 福祉しあわせセンター

◎法律相談をご希望の方は、事前に心配ごと相談をお受けください。

法律相談

弁護士により
第1火曜日に実施しています。

成年後見制度のご相談も
お受けします。

知的障害者(児)相談

日時 10月8日(土)10時~11時30分
場所 播磨町福祉会館

おもちゃルーム “きらきら”

いっっぱいのおもちゃで遊ぼう
10月の開設日

日時 10月6日(木)・15日(土)
10時~12時
場所 播磨町福祉会館



おしゃべり広場

お友だちづくりや子育ての情報交換をする場所です。
お気軽にお越しください。

日時 毎週月曜日 10時~12時
※10月10日(祝)はお休み
場所 福祉会館
対象 おおむね0歳児とその保護者

子育て相談

日時 10月24日(月)
13時30分~16時
場所 福祉しあわせセンター

主任児童委員が
ご相談をお受けします。

福祉相談

日時 10月5日・12日
19日・26日(水曜日)
13時30分~16時
場所 福祉しあわせセンター
民生委員・児童委員が
ご相談をお受けします。

困りごと相談

秘密厳守

日時 10月13日・27日(木)
13時~15時
場所 福祉しあわせセンター
播磨町人権擁護委員が
ご相談をお受けします。

認知症家族の会

日時 10月8日(土)
13時30分~15時30分
場所 福祉しあわせセンター
参加費 100円

小規模多機能型居宅介護事業所みんなの家を見学し、利用者の方との交流を予定しています。

第4回 福社会館 文化祭

平成23年10月25日(火)～10月26日(水)

～福祉と文化のかおり高いまちにしましょう～

【発表の部】

時間	出演団体・サークル等	内容	会場
10月25日(火)			
10:00～16:00	ローズマリー農園	ハーブ石鹸等手作り体験	健康相談室
10:00～16:00	茶道部	茶道(お茶席券 別途販売)	集会運動指導室
10:00～11:00	ハリマホイホイフラ	フラダンス	3階会議室
11:00～12:00	太極柔力球サークル	太極柔力球	
12:00～13:00	田中ひろしとマジック研究会	マジックショー	
13:00～14:00	フォークダンスサークル	フォークダンス	
14:00～14:30	地域包括支援センター	介護予防体操	
14:30～15:00	囲碁・将棋の愛好者	囲碁・将棋大会の表彰	教養娯楽室
10月26日(水)			
10:00～16:00	ボランティアグループおひさま	紙すき体験	健康相談室
10:00～16:00	囲碁ボール協会	囲碁ボール	集会運動指導室
10:00～10:20	大正琴アンダンテ	大正琴	3階会議室
10:20～11:00	明楊会 播磨	太極拳	
11:00～12:30	詩吟同好会(関西詩吟文化協会)	詩吟	
12:30～13:10	ダンス同好会	フォークダンス	
13:10～14:10	日本民謡秀奥会	日本民謡	

【展示の部】

時間	出演団体・サークル	内容	会場
10月25日(火) ～ 10月26日(水)	書道サークル	書道	生活指導室 診察室 栄養指導室
	手描き友禅同好会	手描き友禅	
親子ふれあいサークル	子どもの絵画・造形		
ビーナス(絵画同好会)	絵画		
折紙同好会	折紙		
10月26日(水)	生け花教室	生け花	栄養指導室
播磨町社会福祉協議会	事業紹介と福祉機器展		

【バザーの部】

時間	出演団体・サークル	内容	会場
10月25日(火) ～26日(水)	ボランティアあすなろ 播磨町陶芸サークル	手作り品等の即売 手作り陶芸品の販売	1階ロビー 正面玄関

寄付者ご芳名

あたたかい善意ありがとうございました。
(平成23年8月10日～9月9日)
(所得税法第78条第2項第3号該当 法人税法第37条第2項及び第3項第3号該当)

●福祉のために

(個人の部)		(敬称略)	
地区名	氏名	金額	
宮西	匿名	5,000円	
大東	匿名	5,000円	
古宮第3	匿名	2,000円	

●供養

(敬称略)

地区名	氏名	備考
本庄中	平郡 陽子	亡母 供養

●今月の払出状況

子どものいない老人誕生祝い	18,000円
旅人へ (1件)	500円

平成23年度目標額

3,688,000円

今年も、「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに、10月1日(月)から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が展開されます。草の根活動や先駆的なボランティア活動支援をはじめ、社会福祉協議会や福祉団体・施設など民間の社会福祉事業の推進のために役立てられます。



10月1日▶12月31日



☆共同募金とは？

共同募金は、地域福祉の推進を目的として社会福祉法に定められた計画募金です。計画募金とは、あらかじめ地域福祉関連の活動をしたい団体から申請を受け付け、配分先を予定したうえで行う募金のことで、共同募金の責任と役割の重要性を端的に表す共同募金の大きな特徴となっています。共同募金運動は、戦後間もない昭和22(1947)年にスタートし、社会福祉施設・団体への機器整備や事業費への配分、さらには、ボランティア活動など地域の草の根活動や災害時のボランティア活動支援など民間の社会福祉事業を力強く支えてきています。



☆配分された募金を何に使っているの？

例えば、平成22年度に播磨町で集まった募金実績に基づき、平成23年度、地域福祉配分金として播磨町社協に2,969,000円が配分され、播磨町社協では、下記の事業計画をもとに、播磨町の福祉力向上のために活用させていただいています。

高齢者の福祉のために

1,371,000円

- ◆給食サービス等の在宅福祉活動
- ◆ふれあいいきいきサロン等の社会参加活動
- ◆ひとり暮らし老人の会等の団体援助活動

子どもの健全育成のために

180,000円

- ◆おもちゃルーム“きらきら”の開設
- ◆子ども会等の団体援助活動

障がい者の福祉のために

130,000円

- ◆点訳等のボランティア活動
- ◆障害者団体・当事者組織の支援

広報・啓発のために

1,288,000円

- ◆広報誌の発行等の広報・調査活動
- ◆各種団体の援助活動

先日、丹波のカラス寺(楞嚴寺)を訪れました。ふすまに四季のカラスが描かれています。

私にとってカラスというと、「ゴミをあさったり、ゴルフボールをくわえて行ったり、果てはヒッチコックの「鳥」を思い出させるような不気味なイメージがありました。ところが、先ごろのなでしこジャパンによってカラスも身近になったかもしれない。日本サッカー協会のシンボルはカラスです。わが国のサッカーの生みの親である中村覚之助氏がヤタガラスを祀っている熊野地方出身だからとも言われています。

住職から「鳩に三枝の礼あり、鳥に反哺の孝あり」という故事を聞きました。「ハトは親鳥から三本の枝に止まる。カラスは養われた恩を忘れずに、育成してから親鳥の口にえさを含ませて恩を返す」という意味だそうです。ですから、カラスは「カーカー」と鳴いているのではなく、「カーカーカー」と鳴いているのではなく、「コーコー(孝行)」と鳴いているのだとか。

どうです？カラスに親しみを覚えたのではないのでしょうか。

私たちは物事の一面しか見ていないことがよくあります。よく見ていないのに、よくわかっていないのに、正しいとが正しくないとか判断してしまっています。偏見や先入観を持たず、まず理解するところから始めましょう。

(中)